

第1回 五泉市総合計画市民まちづくり会議

次 第

日時：平成23年9月30日（金）13：30～

会場：五泉市福祉会館 3階 大会議室

1 開 会

2 委嘱書交付

3 あいさつ

4 自己紹介

5 会長・副会長について

6 説 明（25 分）

①会議の目的、全5回の工程について 【資料1】

②五泉市総合計画について 【資料2】

③市民意識調査結果について 【資料3】

（休憩・2テーブル分け）

7 意見交換（60 分）

～新市誕生から5年間のまちづくりをふりかえって～

① まちづくりの状況に対するあなたの考え・感想等を以下の色の“ふせん”に書き込んでください。

■ 良くなったと思うこと

■ 悪くなった・改善が必要だと思うこと

② 委員の皆さん考え・感想等を各テーブルで共有します

③ 発表（各テーブル3分ずつ）

8 ふりかえり

・本日のふりかえり

9 閉 会

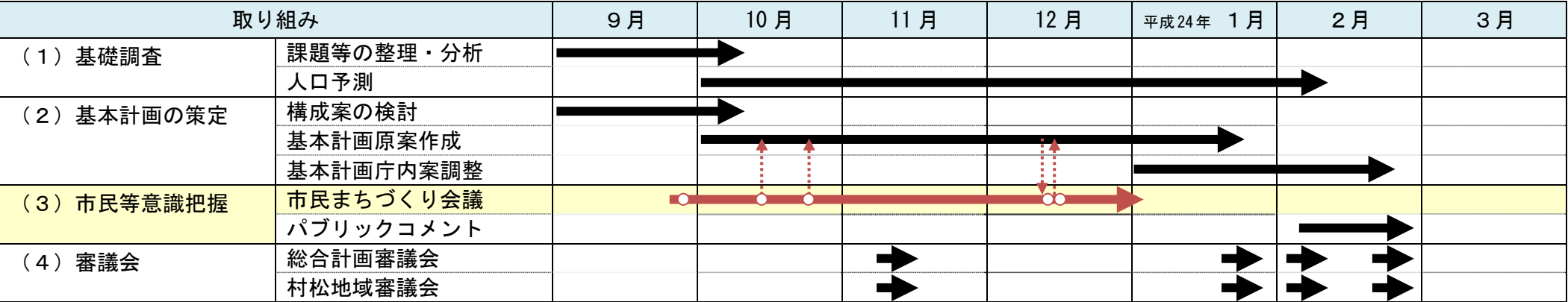
■五泉市総合計画市民まちづくり会議の目的、全5回の工程（案）について

資料 1

1. 市民まちづくり会議の目的

- ① 市民目線での計画案への意見反映、精査
- ② 団体組織等を通じた計画の市民広報
- ③ 市民参加型のまちづくりの推進 等

2. 五泉市総合計画 後期基本計画の策定スケジュール（予定）



3. 会議の進め方

テーマ	前期基本計画の評価			後期基本計画の内容確認		備考
	【第1回】問題点の抽出	【第2回】重点課題の改善方法	【第3回】重点課題等の改善方法	【第4回】計画への反映結果の確認	【第5回】計画への反映結果の確認	
実施 予定日	H23年9月30日（金）13：30～	10月13日（木）13：30～	10月26日（水）13：30～	12月中旬	12月中旬	
会場	五泉市福祉会館 3階 大会議室	五泉市福祉会館 3階 大会議室	五泉市福祉会館 3階 大会議室	五泉市福祉会館 or 市役所	五泉市福祉会館 or 市役所	
会議の 流れ ※丸数字は下段の 配付資料に対応	(1) あいさつ ①次第（本日の流れ）・自己紹介	(1) あいさつ ①次第（本日の流れ）	(1) あいさつ ①次第（本日の流れ）	(1) あいさつ ①次第（本日の流れ）	(1) あいさつ ①次第（本日の流れ）	
	(2) 説明 ②会議の目的・全5回の工程 ③五泉市総合計画 ④市民意識調査結果	(2) 説明 ②前回のふりかえり ③重点課題に該当するこれま での施策について	(2) 説明 ②前回のふりかえり ③重点課題等に該当するこれ までの施策について	(2) 説明 ②前回のふりかえり ③後期基本計画への意見反映 結果について	(2) 説明 ②前回のふりかえり ③後期基本計画への意見反映 結果について	
	(3) 意見交換 ○新市誕生から5年間のまちづ くりをふりかえって （良い点、悪い点）	(3) 意見交換 ○重点課題を改善する方法に ついて 市役所職員もテーブル討議に参加	(3) 意見交換 ○重点課題等を改善する方法 について	(3) 意見交換 ○後期基本計画への意見反映 結果について	(3) 意見交換 ○後期基本計画への意見反映 結果について	
	(4) ふりかえり ○本日のふりかえり &次回までの宿題	(4) ふりかえり ○本日のふりかえり &次回までの宿題	(4) ふりかえり ○本日のふりかえり	(4) ふりかえり ○本日のふりかえり	(4) ふりかえり ○本日のふりかえり ○これまでのまとめ	
配布資料	①次第・委員名簿 ②市民まちづくり会議の進め方 ③五泉市総合計画（概要版抜粋） ④市民意識調査（抜粋）	①次第 ②WS ニュース ③重点課題に該当するこれまで の施策	①次第 ②WS ニュース ③重点課題等に該当するこれま での施策	①次第 ②WS ニュース ③後期基本計画の見直し状況	①次第 ②後期基本計画の見直し状況	
アクション等		WS ニュース 庁内策定委員会 庁内策定部会	WS ニュース	WS ニュース	WS ニュース×2	

「総合計画」ってどんなもの？

総合計画とは、今後のまちづくりの指針を定めるもので、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の3つの要素で構成しています。計画の期間は、「基本構想」は10年間、「基本計画」は前期5年間及び後期5年間、「実施計画」は3年間です。

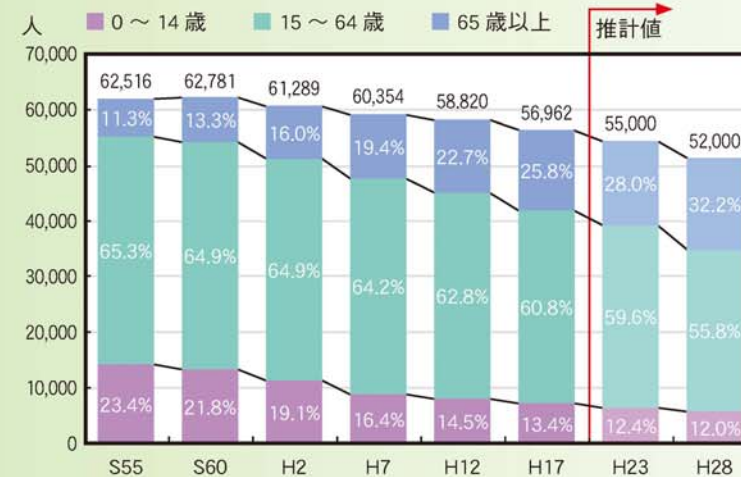


人口推計

平成17年国勢調査で56,962人と、平成12年の国勢調査より1,858人、3.1%減少しています。今後も出生率の低下や進学、転出などにより減少傾向が続くものと予想されます。

また、団塊の世代が生産年齢から高齢者に移行することから、高齢者人口は今後もさらに増加し、平成28年(2016年)には、3人に1人が65歳以上となる超高齢社会となることが予想されます。

本総合計画の計画的な推進を図り、人口減少を抑えることをめざし、目標年次である平成28年度の目標人口を52,000人と想定しました。



将来像を実現するための5つの基本政策

将来像『人と自然が織りなす創造都市』を実現するため、従来のような「福祉」「教育」「産業」など分野別に施策を進めるのではなく、「いきいき」「安心」「ふれあい」「活気」「快適」の5つの基本政策を掲げ、分野を超えた横断的な施策推進をめざします。

この5つの基本政策を、全国的にも特色のある「五泉」という地名にちなんで「五つの泉水(いずみ)」としています。泉水が絶え間なくわき出す姿は、施策が流れるように展開していく様子や、他のまちに誇れる資源(人、自然、歴史、産業、文化など)が豊富である様子をイメージしています。



5つの基本政策

いきいき いずみの泉水

～笑顔あふれ、いきいきと暮らしているまち～

誰もが生きがいを持ち、いきいきと暮らすことができるよう、一人ひとりの自主性や個性を尊重し、たくましく生きる力を育む環境づくりや、いつでもどこでも学習や運動のできる機会を充実し、笑顔のあふれるまちづくりを進めます。

安心 いずみの泉水

～信頼あふれ、安心して暮らしているまち～

誰もが不安なく、安心して暮らすことができるよう、子育て支援の充実や心身の健康を守るための環境づくりを進めるとともに、防犯・防災に努め、万一の場合でも迅速に対応し、安全な生活を守ることで、信頼のあふれたまちづくりを進めます。

ふれあい いずみの泉水

～交流あふれ、ふれあい豊かに暮らしているまち～

誰もがともに支えあい、ふれあい豊かに暮らすことができるよう、地域ぐるみで青少年を育み、障がい者などが地域の中で自立した生活を送ることのできる環境づくりを進めるとともに、多様な文化ともふれあえる、交流のあふれたまちづくりを進めます。

活気 いずみの泉水

～賑わいあふれ、活気がある暮らしをしているまち～

誰もが活力に満ち、活気がある暮らしができるよう、地域の産業を支え、担い手となる人材を育成し、新たな産業育成を図るとともに、魅力ある産業や観光などによって市内外から人が集まる、賑わいのあふれたまちづくりを進めます。

快適 いずみの泉水

～潤いあふれ、快適に暮らしているまち～

誰もが不自由なく、快適に暮らすことができるよう、居住環境や公共交通網などの整備により日常生活における利便性の向上を図るとともに、地球環境に配慮した循環型社会の構築を進め、潤いのあふれたまちづくりを進めます。

基本構想・基本計画の実現のために

～市民協働と信頼による自立したまち～

積極的な情報公開などにより市民と行政がお互いの役割分担を見直して協働のまちづくりを進めるとともに、経営感覚を持った行政経営を確立し、「行財政改革」を推進します。

将来像

人と自然が織りなす 創造都市 五泉市

将来像を実現するためのテーマ

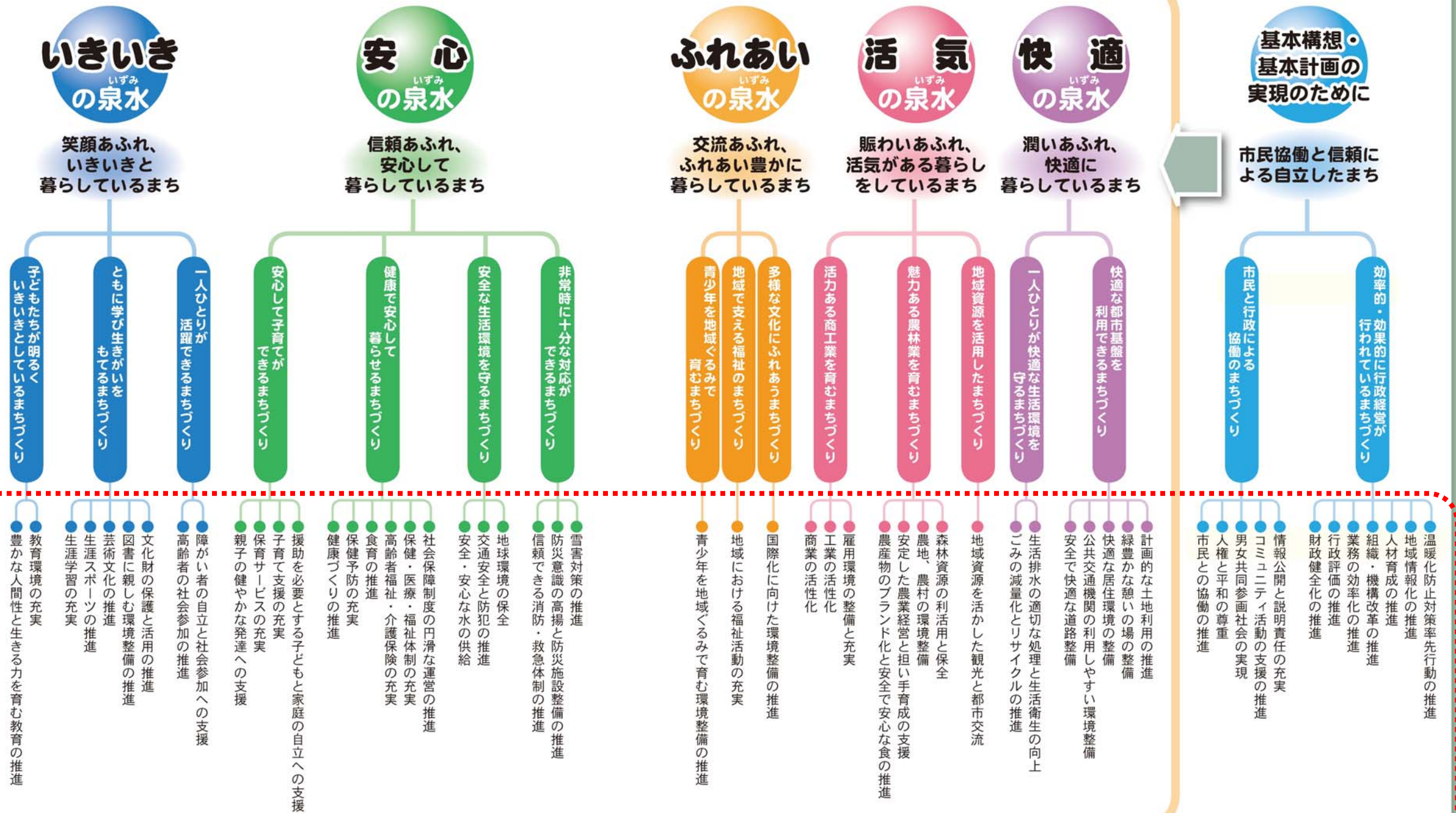
五つの泉水わき出す 愛せるまち

基本政策

政策

後期基本計画
で見直す箇所

施策



■市民意識調査結果について（平成22年版）

資料 3

詳しくは...

報告書 P10

報告書 P23

現在、市では市民の皆さんとの協働によるまちづくりを推進するため、「第1次五泉市総合計画」の施策体系をもとに、平成23年度に後期基本計画を策定します。この計画にみなさんの意見を反映させることを目的に、市民意識調査を実施しました。

市内の20歳以上の人を対象に、これまで市が取り組んできた施策に対して満足しているか『満足度』、市がどのような施策に更に力を注いでいくべきか『重要度』、また、日常生活におけるみなさんの意識を把握し、『成果指標』を設定するために調査を行いました。

この調査結果をもとに、限られた財源の中で、効果的・効率的な資源配分を行い、行政サービスの更なる向上を目指し、まちづくりを進めていきます。

■調査の概要

詳しくは...

報告書 P3

【対象】五泉市住民基本台帳（平成22年10月31日現在）から20歳以上の市民を無作為抽出した3,000人

【方法】郵送による配布、回収

【期間】平成22年11月25日～12月20日

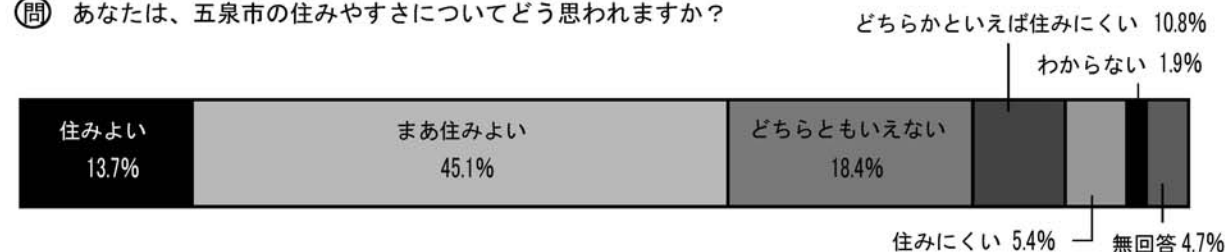
【回収数】1,212通（回収率40.4%）

■五泉市の住みやすさ

詳しくは...

報告書 P8

問 あなたは、五泉市の住みやすさについてどう思われますか？



■施策の重要度

詳しくは...

報告書 P18

問 五泉市のまちづくりにとって何が重要だと思いますか？（38項目の中から5つ選択）

重要度の高い項目	重要度の低い項目
・安心して医療をうけることができるまち 45.3%	・公害を防止するまち 0.8%
・税金が効率的に使われているまち 41.3%	・国外の人たちとの交流がさかんなまち 1.0%
・高齢者が生きがいをもって暮らすことができるまち 31.8%	・林業を育成するまち 1.2%
・安心して子育てできるまち 29.5%	・目的地に安心していくことができるまち 1.7%
・子どもがゆとりある楽しい学校生活をおくることのできるまち 24.8%	・消防力が強いまち 1.9%

■施策の満足度

詳しくは...

報告書 P19

問 五泉市の取り組みについて、あなたはどの程度満足していますか？（38項目の設問ごとに、満足・まあ満足・どちらともいえない・やや不満・不満・わからないのいずれかを1つ選択）

満足度の高い項目	満足度の低い項目
・健康づくりの支援 53.1%	・労働環境の整備 51.0%
・市政への市民意見の反映 51.1%	・除雪体制の整備 48.0%
・消防・火災予防機能の充実 43.6%	・医療整備の充実 37.8%
・スポーツを楽しむ環境の整備 42.7%	・農業の振興 36.5%
・公園の整備や緑化の推進 40.6%	・工業の振興 34.3%

（「満足」「まあ満足」の割合）

（「不満」「やや不満」の割合）

■重要度・満足度からみた施策の分析

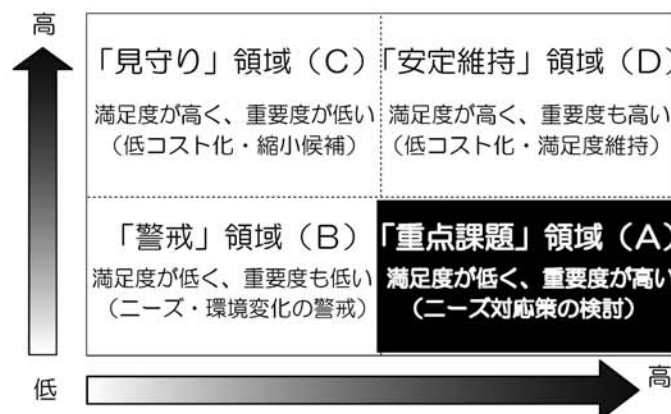
下図のように、横軸に重要度、縦軸に満足度を取り、それぞれの平均値を交点としたグラフに、各アンケート項目の結果を示すと、分布した領域から市民ニーズと重点化すべき施策の傾向を読み取ることができます。

重要度が平均より高く、満足度が平均より低い領域（図の黒い部分）に位置した施策、つまり、市民が五泉市のまちづくりにとって重要だと思っているが、満足していない下記の9つの施策については、「重点課題」としてニーズ対応への検討が必要となります。

【重点課題】（重点施策）

「高齢者が生きがいをもって暮らすことができるまち」
「安心して医療をうけることができるまち」
「積雪にすばやく対応できるまち」
「商業に活気のあるまち」
「工業に活気のあるまち」
「魅力ある労働環境を提供できるまち」
「農業を育成するまち」
「公共交通機関が利用しやすいまち」
「税金が効率的に使われているまち」

（図）重要度・満足度調査



■まちづくりの目標を数値で表現

詳しくは...

報告書 P38

今回の調査では、日常生活において「市民のみなさんがどう感じているのか？」などといった項目も調査しました。なぜなら、協働のまちづくりを進めるためには、整備率といった「行政サービスの実施量」を目標値とするのではなく、みなさんの「受け止め方」を数値で把握することが重要となってくるからです。

このような『分かりやすい数値による目標（成果指標）』を設定することで、まちづくりの理念や目標を共有することができます。そして、これらの目標がどのくらい達成されているかを定期的に測定して公表することで、行政の透明性を高めながら、協働によるまちづくりの実現を目指すことができます。

日常生活におけるみなさんの感じ方について「そう思う」「まあそう思う」の割合 上位3項目

問 あなたの住む地域（小学校区）のことや、あなた自身の感じ方について、どう思われますか？（17項目の設問ごとに、そう思う・まあそう思う・どちらともいえない・あまりそう思わない・そう思わない・わからないのいずれかを1つ選択）

・安心・安全な水が供給されていると感じていますか	81.4%
・子どもを幼稚園や学校に安心して送り出すことができると感じていますか	56.3%
・公園が安全で利用しやすいと感じていますか	41.6%

日常生活における活動状況について「実施している」の割合 上位3項目

問 10項目の設問ごとに、その活動を「している」「していない」から選択してください。

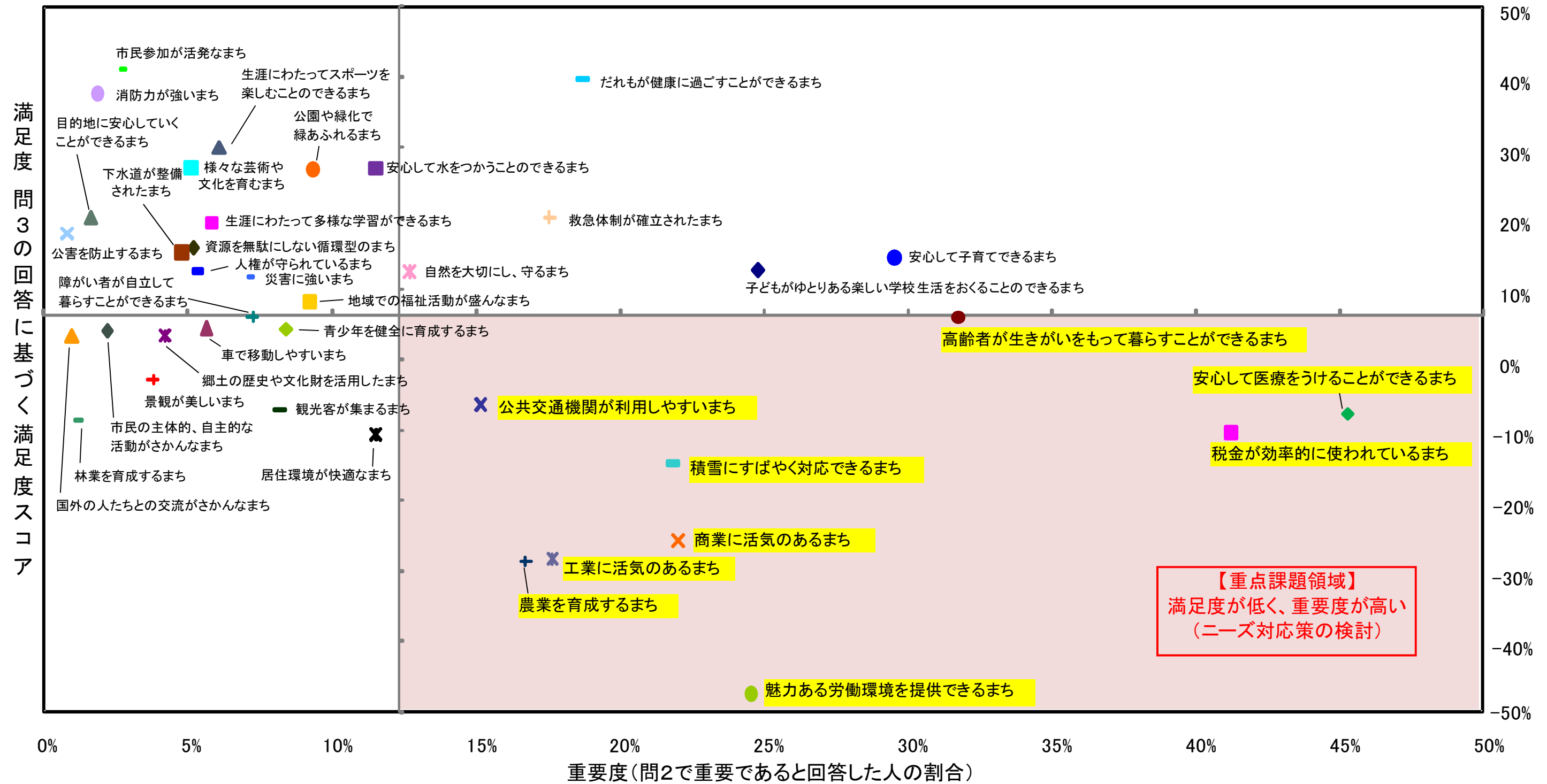
・災害の際の緊急避難場所がどこか知っていますか	72.3%
・ごみの減量化や再生利用に取り組んでいますか	70.4%
・「広報ごせん」を毎回読んでいますか。	68.2%

総合計画及び市民意識調査に関するお問い合わせは、

五泉市企画政策課 企画政策係 （代）43-3911（内線315）へお願いします。

(平成22年版)

五泉市 全策の重要度・満足度



■市民意識調査結果（平成18年版）

- ＜平成22年版との比較＞
- 凡例
- ：重点課題として継続している施策
 - ：重点課題になった施策
 - ：重点課題では無くなった施策

五泉市 全施策の重要度・満足度

